



令和3年8月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年8月分について、輸出額は「自動車」などが減少したものの、「有機化合物」、「通信機」などが増加したことから対前年同月比11.5%の増加となった。また、輸入額は「半導体等電子部品」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加及び単月で「船舶類」の輸入があったことから、同91.8%の増加となった。

その結果、差引額は940億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	598億円	+11.5%	1,538億円	+91.8%	▲940億円	+254.1%
	5ヵ月連続の増加		5ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) 有機化合物	65億円	+87.2%	輸 入	増加品目	(1) 原油及び粗油	772億円	+85.8%
		(2) 通信機	22億円	654倍			(2) 船舶類	75億円	全増
		(3) プラスチック	60億円	+39.1%			(3) 石油製品	128億円	+128.8%
	減少品目	(1) 自動車	20億円	▲61.8%		減少品目	(1) 半導体等電子部品	2億円	▲74.5%
		(2) 科学光学機器	20億円	▲60.5%			(2) コック・弁類	0億円	▲94.5%
		(3) 石油製品	10億円	▲68.8%			(3) 粗鉱物	1億円	▲80.5%
地域別動向	アジア、北米が増加、西欧は減少			地域別動向	中東、北米が増加、中東欧・ロシア等は減少				

(参考) ドルレートは、109.89円（前年同月比3.5%、3.70円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。